

山荘の裏庭のカラマツの幹に設置してある「フクロウ用の巣箱」にはいろいろな動物が訪れます。本来の「使用目的」のフクロウの営巣の他にも、ムササビの子育てにも使われました。7月下旬になって、誠に「招かざる客」に占拠されそうになりました。キイロスズメバチです。

主のいなくなったフクロウの巣箱は、スズメバチにとってもちょうど良い営巣地だったのでしょう。たった2晩程度で小さな巣を造ってしまい、その間私は気づきませんでした。巣箱の口から何か茶色いものが見えたので、双眼鏡で確かめると、確かにキイロスズメバチの群れと、造りかけの巣でした。

まだ巣は造り始めの小さなものだったし、前回の「駆除経験」があったので、今回の駆除は楽勝でした。明るいうちにすぐとなりの木の幹に梯子をかけておき、日が暮れるのを待ちました。スズメバチの巣の駆除は、決して昼間にやってはいけません。ハチが巣にいないことが多く、動きも活発で危険なのです。たとえ昼に駆除しても、残党がまた近くに巣を造ります。

私は防護服（厚手の防寒具とヘルメットなど）を身に着けて、そっと梯子を登り、1発目に「スズメバチ・ジェット」の噴射、2発目に「巣を泡薬剤で包むジェット」で完全にやっつけました。その後何匹か残党が飛来しましたが、巣に近づけず逃げていきました。

